

小学校長会会長賞

はく手

堺市立 城山台小学校 六年

村上 海斗

「パチパチ」

はく手は、ぼくの心に元気をくれる、勇気をくれる。みんなの心があったかくなる。そして、ぼくとみんなが笑顔になる。ぼくは、はく手が社会を明るくすると思う。はく手が社会を平和にすると思う。

六年になって学年集会があった。その中でぼくは自分の意見を伝える場面があった。発表できるんだろうかと心配でドキドキした。やっと言えた時、みんながぼくにはく手をしてくれた。その時、心がすうっと楽になったことを覚えている。はく手の力を感じた。

今までぼくは、友達が発表していても、友達の方を向くだけで、はく手をしていなかった。でも、これからははく手しようと思った。ぼく達の心の中に、はく手を通して、認め合う心ができたとと思う。

六年になって、ぼくは学校の役割として、放送委員会になり、朝やお昼の放送をすることになった。ぼくは今年初めてするので、

自分の番が回ってきた時、うまくいくのか不安でした。なんとか仕事をして放送室を出ると友達が待っていてくれ、

「できてるやん。」

と、声をかけてはく手をしてくれた。その時ぼくの心のきんちようがいつきになくなり、楽になった。そして、ぼくは自信がついた。

そして、教室に帰ると、クラスのみんながはく手してくれた。

言葉はなかったけれど、

「よかったやん。」

「おつかれさま。」

という言葉が聞こえてきたように感じた。それから、ぼくのクラスでは放送や朝礼の司会をした人が帰ってくると、はく手をする。帰ってきた人もうれしそうだけれど、クラスのみんなもなぜかうれしそう。そして笑顔になっている。はく手ってすごい力があるように感じた。

ぼくは七月十日がたん生日だ。その前日の金曜日、クラスのみ

んなが、ハッピーバースデーを歌って、

「海斗、おめでとう。」

と、はく手をしてくれた。はずかしい気持ちもあったけれど、とてもうれしかった。そして心があつたかくなつた。そんな明るいみんなのはく手がうれしかった。

総合的な学習で、平和について学んでいる。ぼくは平和な社会は、みんなが明るい社会だと考えるようになった。明るい社会にするために、まず明るいクラス、学年にしようと思う。そのヒントははく手だと思う。

一日の中で、はく手をする時を考えてみた。朝の会で日直がスピーチをした時、詩の暗唱チャレンジが成功した時、ドッチボールでうまくキャッチした時、発表で自分の考えを伝え合った時、終わりの会で仲間のいいところを伝え合った時：できなかつたことができた時、おもしろい話をして、大笑いした時、ぼくの周りにははく手がいっぱいあって、そして明るく平和だ。

日本中が、そして世界中が明るく平和になるように、ぼくは今日もはく手を大切にしている。

